

定例会見(平成24年1月)

議事次第

定例会見(16:30～17:20) 代表取締役会長兼社長 橋本 圭一郎

会見内容

1. 距離別料金移行後の状況(最近の通行台数状況)
2. 首都高速道路構造物の大規模更新のあり方に関する調査委員会の設置について
3. 環境の取組み～見沼たんぼ首都高ビオトープにおけるハンノキ・プロジェクト～
4. 海外事業展開について
5. “パーキングでアート”～住宅展示場を芸術空間に～
6. 開通50周年の取組み
7. 小学生を対象とした職業体験プログラムの実施
8. 改善の取組み ～質の高いサービスの提供を目指して～

質疑応答

1. 距離別料金移行後の状況（最近の通行台数状況）

① 利用台数・渋滞量・ETC利用率の変化（平日）

【速報】

- 平日の利用台数は前年に比べ約2%と若干減少し、渋滞量については約3割減少している。ETC利用率は90%を超えている。

○ 平日

【移行後(H24)：平成24年1月10日(火)から1月16日(月)までの平日】

【移行前(H23)：平成23年1月11日(火)から1月17日(月)までの平日】

(1) 利用台数(全線)

	移行前(H23)	移行後(H24)	対前年比
利用台数(全線)	1, 006, 400台/日(※1)	986, 300台/日(※2)	▲2%

(2) 渋滞量(全線)（渋滞長さ×渋滞継続時間）

	移行前(H23)	移行後(H24)	対前年比
渋滞量(全線)	270km・時/日	190km・時/日	▲30%

(3) ETC利用率(全線)

	移行前(H23)	移行後(H24)	増減
ETC利用率(全線)	88. 9%	90. 8%	+1. 9

※1 推計値(料金圏ごとに1回の利用を1台として集計した利用台数に対し、比較を可能にするため、料金圏撤廃(※2と同様)と仮定。)

※2 料金圏撤廃のため、首都高1回の利用を1台として集計。

1. 距離別料金移行後の状況（最近の通行台数状況）

② 利用台数・渋滞量・ETC利用率の変化（休日（日曜・祝日））

【速報】

- 休日の利用台数は前年に比べ約3%と若干減少し、渋滞量については約4割減少している。ETC利用率は90%に達している。

○ 休日（日曜・祝日）

【移行後(H24)：平成24年1月8日(日)、9日(祝)、15日(日)】

【移行前(H23)：平成23年1月9日(日)、10日(祝)、16日(日)】

(1) 利用台数(全線)

	移行前(H23)	移行後(H24)	対前年比
利用台数(全線)	794, 900台/日	769, 200台/日	▲3%

(2) 渋滞量(全線)（渋滞長さ×渋滞継続時間）

	移行前(H23)	移行後(H24)	対前年比
渋滞量(全線)	135km・時/日	80km・時/日	▲41%

(3) ETC利用率(全線)

	移行前(H23)	移行後(H24)	増減
ETC利用率(全線)	88. 7%	90. 0%	+1. 3

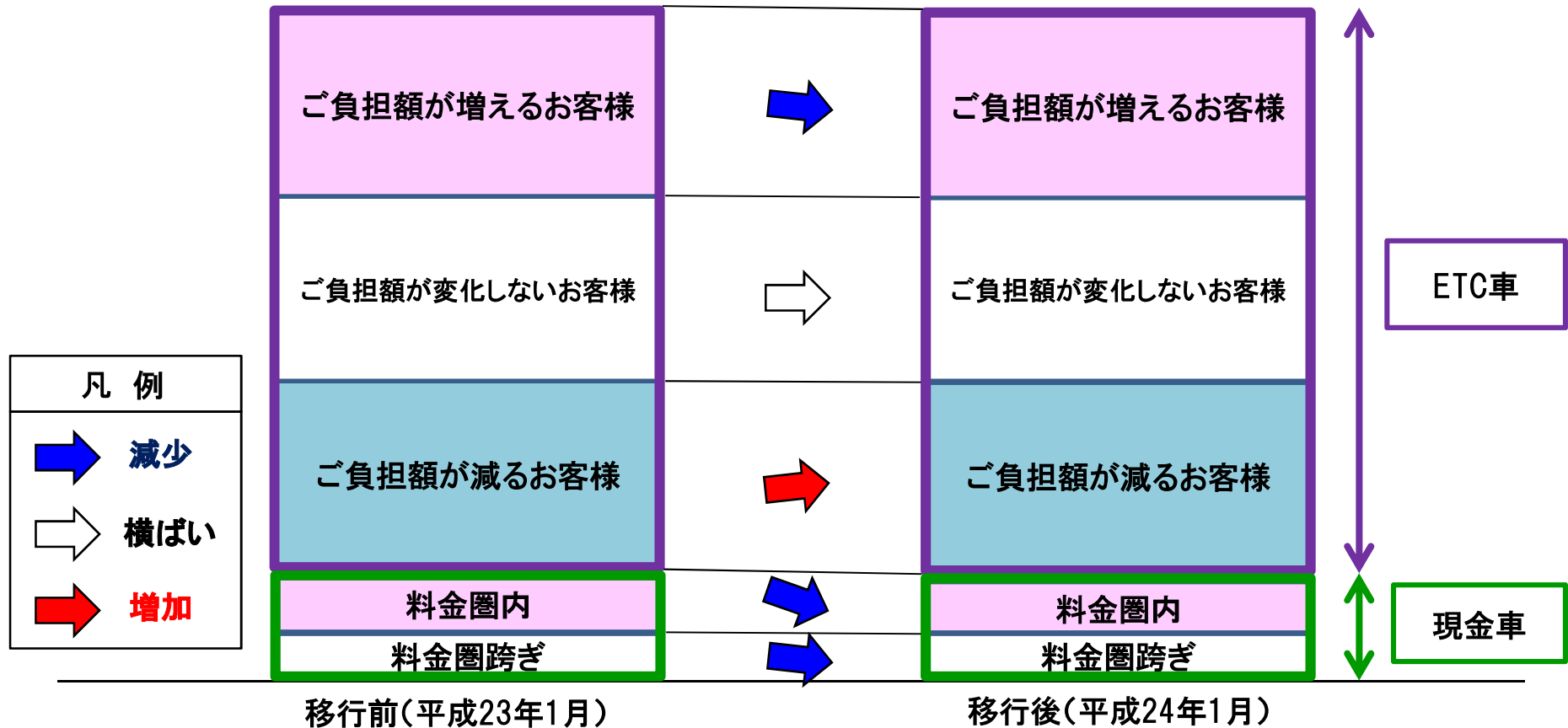
※1 推計値(料金圏ごとに1回の利用を1台として集計した利用台数に対し、比較を可能にするため、料金圏撤廃(※2と同様)と仮定。)

※2 料金圏撤廃のため、首都高1回の利用を1台として集計。

1. 距離別料金移行後の状況(最近の通行台数状況)

③ 通行料金の変化による利用台数の傾向

- ETC車は、ご負担額が増えるお客様が若干減少し、ご負担額が減るお客様が若干増加しているが、全体では利用台数及びシェアに大きな変化はない。
- 現金車は、全体で減少している。



1. 距離別料金移行後の状況(最近の通行台数状況)

④ 料金圏撤廃による利用台数の変化

【速報】

- 料金圏撤廃により、旧料金圏境の断面交通量が東京線-埼玉線断面で約13%増加、東京線-神奈川線断面で約7%増加しており、料金圏を跨いで連続利用する交通が増加していると考えられる。

○ 利用台数(旧料金圏境の断面交通量)(平日)

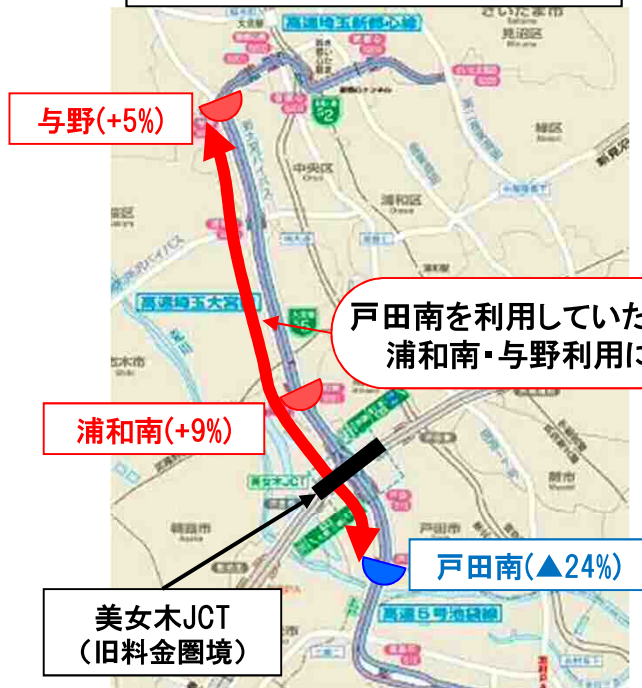
【移行後(H24) : 平成24年1月10日(火)から1月17日(火)までの平日】

【移行前(H23) : 平成23年1月11日(火)から1月18日(火)までの平日】

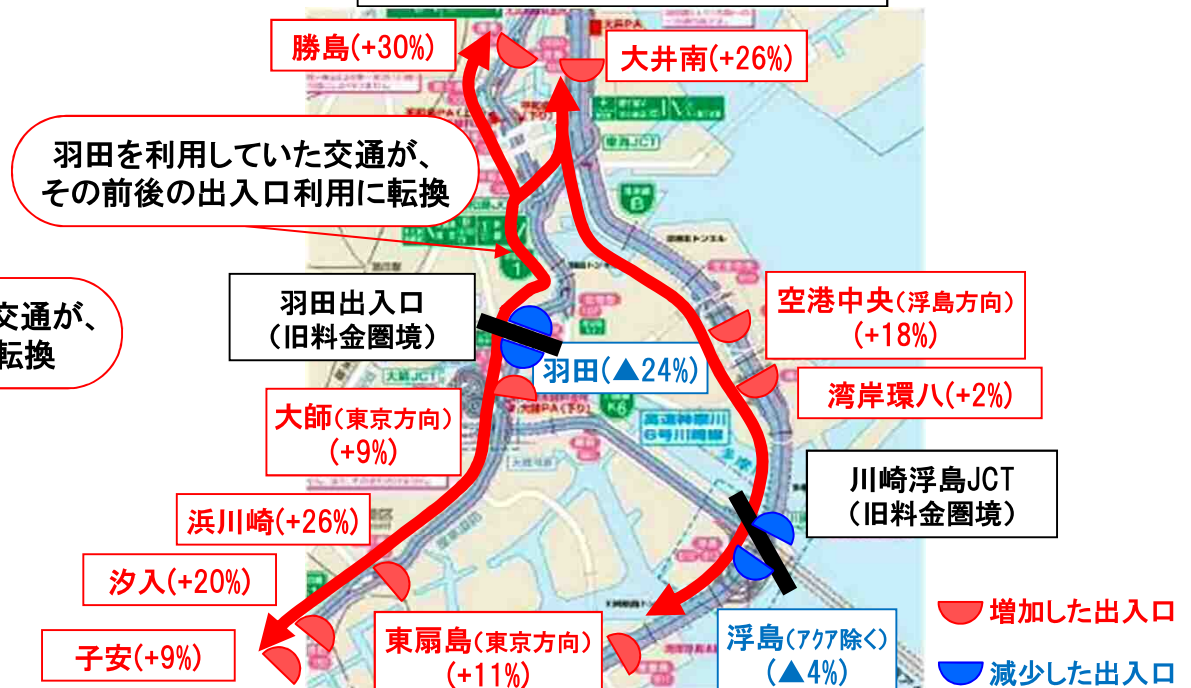
	地点	移行前(H23)	移行後(H24)	対前年比
東京線-埼玉線 断面	美女木JCT付近	26,700台/日	30,100台/日	+13%
東京線-神奈川線 断面	羽田および浮島付近(合計)	127,800台/日	137,000台/日	+7%

○ 旧料金圏境における交通量の変化(平日)

【東京線-埼玉線 断面】



【東京線-神奈川線 断面】



2. 首都高速道路構造物の大規模更新のあり方に関する 調査研究委員会の設置について

本委員会は、「高速道路のあり方検討有識者委員会」の中間とりまとめ(平成23年12月9日)を受け、首都高速道路の構造物を長期にわたり安全に管理していくために必要な方を調査研究するために組織する。

◆検討項目とスケジュール

- ・大規模更新の必要性について、技術的かつ経済的見地から判断するため、具体的な場所で施工法検討など、ケーススタディーを交えながら検討する。
- ・平成23年度内に第1回委員会を開催し、平成24年内を目処に、首都高速道路構造物の大規模更新のあり方について、まとめる予定

◆組織体制

委員長: 涌井史郎教授(東京都市大学環境情報学部) 他は学識経験者等を中心に構成
首都高側出席者: 橋本社長以下、常務執行役員4名

◆第1回委員会開催日時・場所

日時 : 平成24年3月5日(月) 17:00~19:00

場所 : 飯野ビルディング イイノカンファレンスセンター (東京都千代田区内幸町2-1-1)
(予定)

※委員会は非公開ですが、委員会終了後に、記者会見を予定しています。

2. 首都高速道路構造物の大規模更新のあり方に関する 調査研究委員会の設置について

<委員名簿>

(委員長)	わくい 涌井	しろう 史郎	東京都市大学環境情報学部 教授
(委員)	あきいけ 秋池	れいこ 玲子	ボストンコンサルティンググループ パートナー&マネージング・ディレクター
(〃)	いしだ 石田	はるお 東生	筑波大学大学院システム情報工学科 教授
(〃)	せやま 勢山	ひろただ 廣直	(独) 日本高速道路保有・債務返済機構 理事長
(〃)	ふじの 藤野	ようぞう 陽三	東京大学大学院工学系研究科 教授
(〃)	まえかわ 前川	こういち 宏一	東京大学大学院工学系研究科 教授
(〃)	ましも 真下	ひでと 英人	(独) 土木研究所道路技術研究グループ グループ長
(〃)	みき 三木	ちとし 千壽	東京工業大学理工学研究科 教授

3. 環境への取組み～見沼たんぼ首都高ビオトープにおけるハンノキ・プロジェクト～

1. ハンノキ・プロジェクトとは

- ・ 埼玉県蝶「ミドリシジミ」※1を見沼たんぼ地域に呼び戻すため、近隣の小・中学校と連携してハンノキ(榛の木)※2を種から育て、「見沼たんぼ首都高ビオトープ」へ植栽する自然再生プロジェクトです。

※1 古くは見沼たんぼ地域に広範囲に生育していた樹木。若葉は「ミドリシジミ」幼虫の餌となる。

※2 準絶滅危惧種(埼玉県レッドデータブック)に指定されている埼玉県の蝶。



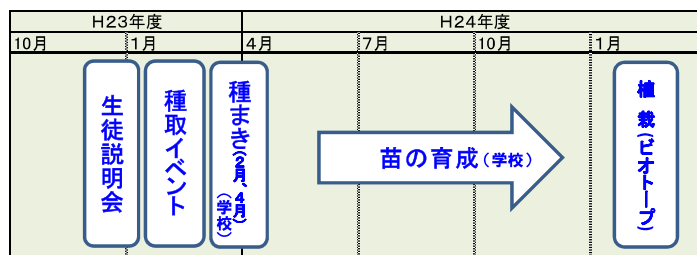
(左上) ハンノキ (右上) ミドリシジミ



(左下) 見沼たんぼ首都高ビオトープ
・「自然共生型の新しい都市高速道路」を目指し、埼玉新都心線の見沼たんぼ地域に延長1.7km、面積6.3haのビオトープを整備

2. 協力校とスケジュール

- ・ ハンノキ・プロジェクトは、見沼たんぼ首都高ビオトープの近隣の下記3校と協力して実施します。
 - ・ さいたま市立 芝川小学校 4年生(124名)
 - ・ さいたま市立 大原中学校 緑化ボランティア委員会(1～3年生:40名)
 - ・ さいたま市立 木崎中学校 緑化委員会(1～2年生:32名)
- ・ 1、2月に種取り、2、4月に学校にて種まきを行い、H24年度の春～秋にかけて育生し、冬にビオトープへの植栽を予定しています。



ハンノキ・プロジェクトのスケジュール



生徒説明会



種取イベント

4. 海外事業展開について

- ◆都市内における高速道路の計画・建設・運営により積み上げてきた各種技術やノウハウを活用
 - ・コンサルタント事業や投資事業など収益事業への参画を図る
 - ・道路事業に係る国際貢献を推進する

(1) 海外駐在員事務所の開設

- 1) バンコク駐在員事務所 平成23年6月8日(水)
- 2) ジャカルタ駐在員事務所 平成23年6月30日(木)

(2) 海外事業新会社の設立

他の高速道路会社と共同で、平成23年9月1日(木)に日本高速道路インターナショナル(株)(JEXWAY)を設置しました。

(3) 外国の政府関係機関や民間企業との覚書締結

覚書締結日	覚書締結先国	覚書締結先
H21.8.24	カンボジア	・公共事業運輸省
H22.4.7	タイ	・タイ高速道路公社(EXAT)
H22.6.15	インドネシア	・ジャサマルガ社(有料道路会社) ・アストラテル社(インフラ投資会社)

(4) JICAへの長期専門家派遣

派遣国	派遣機関及びプロジェクト名	専門分野
カンボジア	公共事業運輸省 建設の品質管理強化プロジェクト	道路建設・維持管理
	経済財務省 住民移転のための環境社会配慮能力強化プロジェクト	住民参加型計画及び開発

4. 海外事業展開について

(5) 首都高の海外コンサルティング業務受注状況

状況	派遣国	プロジェクト名／工期／受注形態	当社担当内容
完了 1	タイ	JICA 橋梁維持管理計画策定調査(チャオプラヤ川架橋) ／H22.2.25～H23.3.31／長大・首都高JV	橋梁点検/維持管理
完了 2	タイ	国交省 タイ・バンコクにおける湾岸地区高速道路等の整備計画策定調査業務 ／H23.2.1～H23.3.25／長大の再委託	道路建設/環境配慮
完了 3	タイ	JICA 地方における橋梁基本計画作成プロジェクト詳細計画策定調査 ／H23.2.14～H23.3.31／単独受注	橋梁設計/維持管理
継続 1	フィリピン	JICA メガマニラ圏高速道路建設事業準備調査 ／H23.3.2～H24.2.15／建設技研・三菱総研・オリコン・首都高JV	高速道路ETC/ITS
継続 2	ベトナム	JICA インフラ工事品質確保能力向上プロジェクト ／H22.5.17～H24.3.31／片平・Nexco中日本JVの片平の補強	技術資格制度
継続 3	インドネシア	JICA ジャカルタ首都圏投資促進特別地域(MPA)マスタープラン調査 ／H23.5.25～H24.6.15／日本工営・三菱商事・千代田化工・日揮・大成・メトロ・日 立・首都高・日本郵船・オリコン・三菱総研JV	高速道路計画部門
継続 4	インド	JICA ハイデラバード都市圏におけるITS導入実施支援調査(SAPI) ／H23.7.21～H25.3.21／日本工営・Nexco東日本・首都高JV	都市内ITS設計
継続 5	ベトナム	JICA ハノイ首都圏高速道路交通管制システム整備計画準備調査 ／H23.10.26～H24.3.30／オリコン・首都高JV	高速道路ITS設計
新規	タイ	JICA 地方における橋梁基本計画策定プロジェクト(開発計画策定型技術協力) ／H23.11.15～H25.3.15／長大・首都高JV	橋梁点検/維持管理



5. “パーキングでアート”～住宅展示場を芸術空間に～

実施概要

代々木パーキングエリアでの第1弾開催に引き続き、学校法人多摩美術大学と連携して第2弾を与野利便増進施設内で開催中。パーキングエリア等の快適性向上と若手の芸術活動支援を目的とした「パーキングでアート」に取り組んでいる。

○タイトル： パーキングでアート 作品が住む～美術があそぶ住宅 2012～

○期間： 平成24年1月4日(水)から平成24年3月25日(日)まで

○場所： 与野利便増進施設内

①場所：さいたま市中央区本町西5-111

②施設：駐車場、休憩施設&トイレ、購買施設、イベントスペース
(総合住宅展示場“さいたまハウジングパーク”
モデルハウス24棟)

○内容：学生24名51作品を各モデルハウスのリビング等に絵画や
立体作品などを展示



〔案内図〕

「総合住宅展示場さいたまハウジングパーク」の参加企業

スウェーデンハウス、三井ホーム、ウィザーホーム、イデアホーム、三菱地所ホーム、アキュラホーム、ポウハウス、東急ホームズ、木下工務店、アルネットホーム、四季工房、トヨタホーム東京、住友林業、旭化成ホームズ、大和ハウス工業、積水ハウス、東京セキスイハイム、北州ハウジング、桧家住宅、パナホーム、一条工務店、ミサワホーム西関東、アサカワホーム (計23社)



5. “パーキングでアート” ～住宅展示場を芸術空間に～

主な展示作品例



作品名：リトルシス7
展示場所：スウェーデンハウス

①



作品名：きもかわ君
展示場所：ポウハウス

②



作品名：仁 ~ヒト~
展示場所：インフォメーションセンター

③



作品名：窓から
展示場所：桧家住宅

④



作品名：eigo cookie
展示場所：積水ハウス(木造)

⑤



作品名：Butterfly Box
展示場所：木下工務店

⑥

5. “パーキングでアート” ～住宅展示場を芸術空間に～

参考：第1弾について

○実施概要

- ・タイトル：パーキングでアート PARKING ～PARKINGからPARKへ～
- ・期 間：平成23年9月12日から平成23年12月12日まで
- ・場 所：代々木パーキングエリア
- ・内 容：学校法人多摩美術大学との産学協同研究により、6グループ7作品を壁面等に展示

○作品紹介



〔窓ガラス面利用〕



〔連続したサインアート〕



〔トイレ壁面利用〕



〔自動販売機利用〕



〔伸縮性の袋により中身によって変形するゴミ入れ〕



〔よよぎの森をイメージ〕



〔エアバックを再利用した椅子カバー〕

○お客様からの声

- ・とても斬新な試みで良い、
- ・意外な取組みで着眼点が良い、
- ・心がハッピーになった、
- ・もっと積極的にやった方が良い、
- ・どこにどんな作品が展示されているかPRして欲しい

6. 開通50周年の取組み

首都高は、1962年(昭和37年)12月20日に1号線京橋～芝浦間4.5kmが開通し、本年で開通50周年を迎える。

この間のお客様からのご支援、ご協力に感謝の気持ちと合わせて、より一層の飛躍を目指す企業姿勢をアピールするために開通記念事業を展開する。

■当面の予定■

- ・ 記念キャンペーン、特別見学会(首都高講座等)等の開催
- ・ 社内で実施するイベントを開通50周年をコンセプトとして実施
- ・ 記念ロゴマークの製作、記念広告の掲載
- ・ 首都高の「良さ」を表現するキャッチコピーの公募 (株)宣伝会議による公募により応募総数4,337点から企業賞を決定)、社内広報媒体への活用
- ・ 東京マラソン2012及びマラソンEXP0における首都高開通50周年PR
- ・ 2012年度内に記念イベントの実施 等々

■今後のスケジュール■

平成24年2月(東京マラソンEXP02012出展等)から

平成25年3月 50周年記念イベント実施(予定)

※ 当該期間において逐次展開、実施予定

7. 小学生を対象とした職業体験プログラムの実施

首都高は社会貢献活動の一環として、企業と連携しCSR活動を行っているフューチャーイノベーション フォーラム※(略称:FIF)と共同で、小学5、6年生を対象として首都高の「つくる」「つかう」「まもる」技術を学んでもらうプログラムを実施する。

※フューチャー イノベーション フォーラムは2006年に発足し、フューチャーアーキテクト株式会社を幹事会社に、多くの協力企業とともに小・中学生を対象とした職業体験プログラムや小学校への出張授業などを行っている団体。

■実施予定■

- ・名 称：『首都高の最前線』
- ・参加者募集期間：平成24年2月1日(水)～3月4日(日)
(※募集案内は別途公表予定。受付先はFIF。)
- ・日 時：平成24年3月27日(火) 10:00～16:10
- ・概 要：大橋連結路シールドトンネル
構造物の大きさを体感ながら「つくる技術」を学ぶ
交通管制室
最新の交通管制システムによる交通運用を見学しながら「つかう技術」を学ぶ
三宅坂ジャンクション桁下
高所作業車での橋梁点検などを体験し「まもる技術」を学ぶ
社長と参加者(小学生)との意見交換

※なお、当日の取材申し込みも直前にご案内予定



8. 「改善」の取組み ～質の高いサービスの提供を目指して～

首都高速道路(株)では、「お客様第一」の経営理念に基づき、お客様にご満足いただける質の高いサービスの提供を目指している。

「お客様の声」による改善

ホームページに設けた「グリーンポスト」や、電話でのお問合せ窓口「首都高お客様センター」を通じて、お客様の声をお聞きし、貴重なご意見を基に改善を実施。

平成23年7月～12月は、お客様から頂いたご意見を基に76件の改善を実施。

（代表的な改善事例）

- （1）黄色の出口強調看板と箱崎ロータリーからの各方面への案内看板を設置
（⑥向島線（上り）箱崎出口、浜町入口）
- （2）合流注意を促す注意喚起看板を2か所に設置
（②中央環状線（内回り）扇大橋出口）
- （3）赤坂カーブ手前に速度抑制と注意喚起を目的とした赤色カラー舗装を実施
（④新宿線（下り）赤坂カーブ）
- （4）PAご利用のお客様へわかり易く誘導するための緑色カラー舗装を実施
（⑥三郷線（上り）八潮PA、⑨川口線（上り）川口PA）

改善事例（１）

（お客様の声）浜町入口から6号線下り方面へ行きたかったが、ロータリーがわかりにくいために箱崎出口から出てしまった

（場 所）⑥向島線(上り)箱崎出口、浜町入口

（対応策）①箱崎出口手前に黄色の出口強調看板を設置

②浜町入口先に箱崎ロータリーから各方面がわかりやすい案内看板を設置

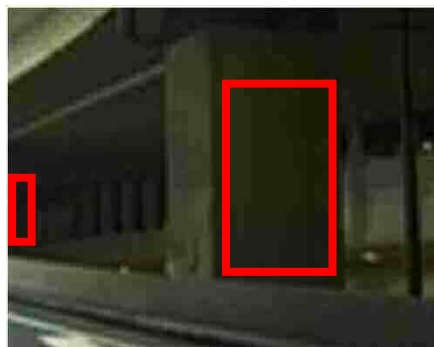
（①箱崎出口）



対策後



（②浜町入口）



対策後



改善事例（２）

（お客様の声）扇大橋出口から街路への合流部が危ない

（場 所）②中央環状線（内回り）扇大橋出口

（対応策）合流注意を促す注意喚起看板を2か所に設置

①



②



対策後



②

①

改善事例（３）

（お客様の声）4号新宿線下り赤坂カーブは事故が多い

（場 所）④新宿線（下り）赤坂カーブ

（対応策）赤坂カーブ手前に速度抑制と注意喚起を目的とした赤色カラー舗装を実施



対策後



改善事例（４）

（お客様の声） P Aを利用するために予め左側による必要があるが、不慣れなお客様にとってわかりにくい

（場 所）⑥三郷線（上り）八潮 P A、⑤川口線（上り）川口 P A

（対応策） P Aご利用のお客様へわかり易く誘導するための緑色カラー舗装を実施

（八潮 P A）



（川口 P A）



お客様からお寄せいただいた「お客様の声」は施設などの改善に反映している。

No	分類	箇所	お客様の声	対応	完成時期
①	看板・標識	KK線の八重洲線(北行き)と都心環状線(内回り)の分岐点	八重洲線方面の案内がないので迷ってしまった	分岐点の案内看板に「八重洲線」の案内を追記	H23.10
②		4号新宿線(下り)高井戸出口	高速を降りた後、環状8号線に向かう車が急に割り込んできて危ない	環状8号線方面に向かう車に対して、早めに左車線への変更を促す案内看板を設置	H23.12
③		6号向島線(上り)箱崎出口、浜町入口	浜町入口から6号線下り方面へ行きたかったが、ロータリーがわかりにくいために箱崎出口から出てしまった	箱崎出口手前に黄色の出口強調看板を設置 浜町入口先に箱崎ロータリーから各方面がわかりやすい案内看板を設置	H23.10 H23.11
④		中央環状線(内回り)扇大橋出口	扇大橋出口から街路への合流部が危ない	合流注意を促す注意喚起看板を2か所に設置	H23.10
⑤		6号川崎線(上り)殿町入口	殿町入口からは東京方面へも行けるのに案内がされていない	距離別料金移行に対応して東京方面の案内を開始	H24.1
⑥	舗装	4号新宿線(下り)赤坂カーブ	4号新宿線下り赤坂カーブは事故が多い	赤坂カーブ手前に速度抑制と注意喚起を目的とした赤色カラー舗装を実施	H23.10
⑦		八潮PAと川口PA入口	PAを利用するために予め左側による必要があるが、不慣れなお客様にとってわかりにくい	PAご利用のお客様へわかりやすく誘導するための緑色カラー舗装を実施	H23.6 H23.10

改善事例

- ①分岐点の案内看板に「八重洲線」の案内を追記
(KK線内の八重洲線(北行き)と都心環状線
(内回り)の分岐点)



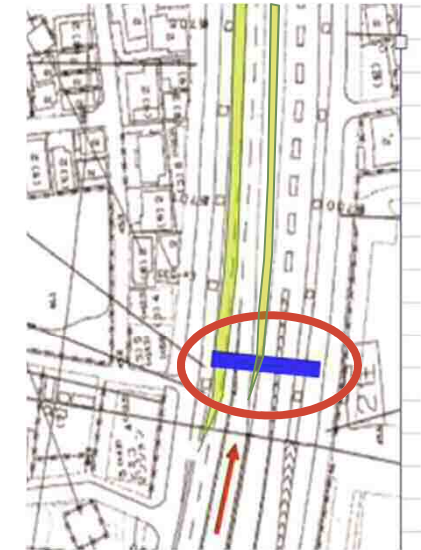
対策後



- ②環状8号線方面に向かう車に対して、早めに左車線への変更
を促す案内看板を設置
(4号新宿線(下り)高井戸出口)



対策後



荻窪方面に向かうお客様は、
街路の突き当たりを右折すれ
ばよいというレイアウトとなっ
ていたが、環状8号線へ向かう
ためには一旦側道へ入らな
くはないという情報を追加
した。

改善事例

③箱崎出口手前に黄色の出口強調看板を設置し、浜町入口先に箱崎ロータリーから各方面がわかりやすい案内看板を設置

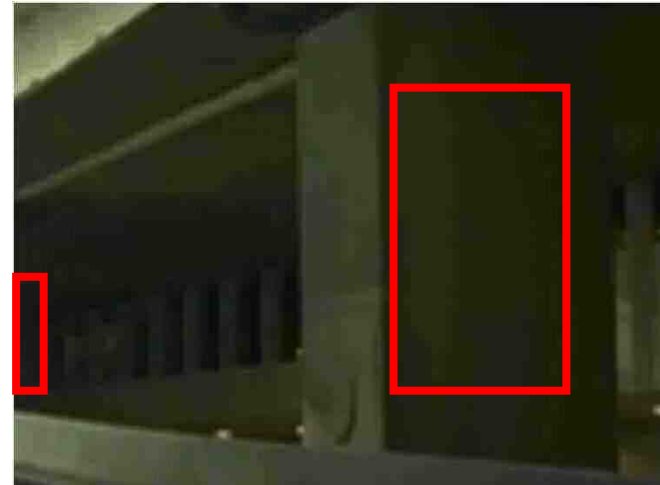
(箱崎出口)



対策後



(浜町入口)



対策後



改善事例

- ④合流注意を促す注意喚起看板を2か所に設置
（中央環状線（内回り）扇大橋出口）



対策後



- ⑤距離別料金移行に対応して東京方面の案内を開始
（6号川崎線（上り）殿町入口）



対策後



改善事例

- ⑥ 赤坂カーブ手前に速度抑制と注意喚起を目的とした赤色カラー舗装を実施
(4号新宿線(下り) 赤坂カーブ)



対策後



- ⑦ P A ご利用のお客様へわかり易く誘導するための緑色カラー舗装を実施
(八潮P A)



(川口P A)

